

阿賀野川第二發電所最近の工事状景



堰堤コンクリート工事中（4月25日撮影）

①**工事箇處名稱** 新潟縣東蒲原郡豐實村大字豊田東信電氣阿賀野川第二發電所工事。

②**工事設計の特長** 低落差にして使用水量の大なる點、即ち使用水量最大 8,000個、落差82尺、ダム式發電所、出力最大45,000キロワット。

③**工事設備** 高32尺幅30尺のテンターゲート19門を備へ、全部開きて 300,000個の洪水を溢流す。

④**工事現状** 堰堤コンクリートは7分通り竣功、大規模のテンターゲート目下据付中。

⑤**工事設計者** 監督主任者 東信電氣株式會社技師長 三野熊雄氏。

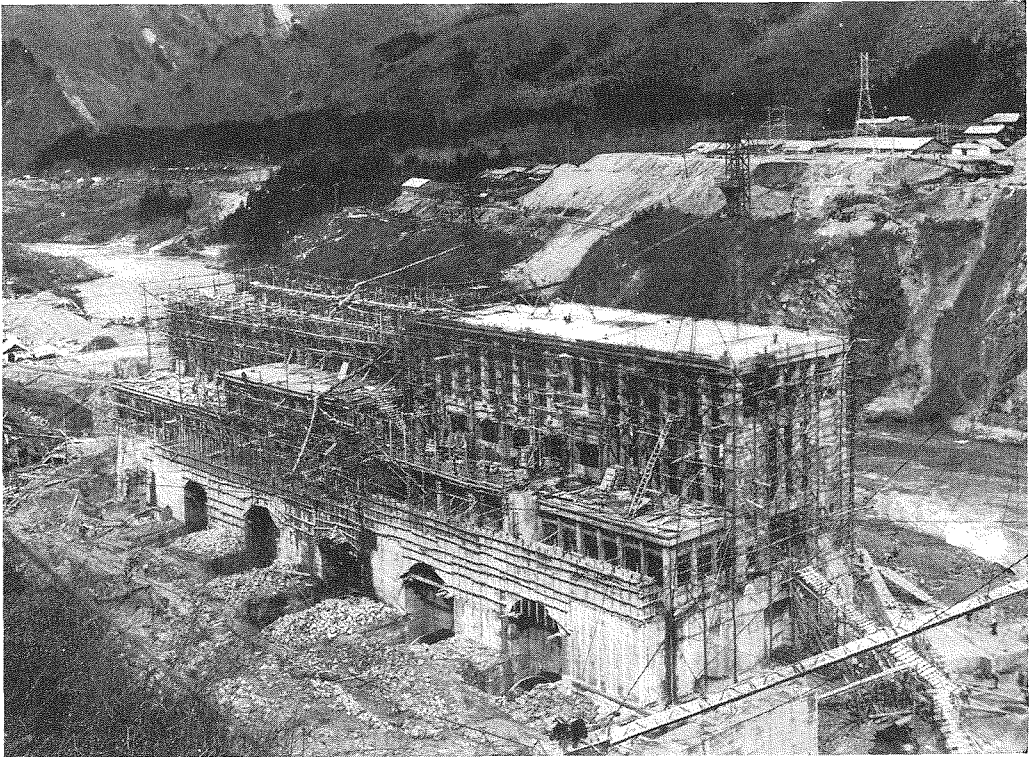
⑥**工事請負者** 飛鳥組、石川島造船所、日立製作所。

⑦**竣工豫定** 昭和四年十一月末。

⑧**視察道順** 磐越西線日出谷驛及豐實驛より約1里。

⑨**附近名所** 鹿瀬驛より約30町にして、昨年末竣功せるダム式の第一發電所あり。

阿賀野川第二發電所最近の工事狀景 新緑を探ねて東北方面の好視察箇所



發電所建物コンクリート工事中（4月25日撮影）

工事能率

○
請負工事に於ても金を掛けなくて實行出来る良い事は、直營工事や、直轄工事に負けな
い様に實行して貰ひ度い。一例は九大の吉田
博士の水を先に入れる工法位はなんでもない
事である。

○
スランプテストさへ人夫や工夫が口にする
様になつた現代である。唯ミキサーに水を先
に入れ次に**セメント**を入れる丈の事である、
何故にするさ云ふ事は現場の監督者から人夫

や工夫に呑込まして置いて貰ひ度い。

○
折角學者が発見された有効な創見でも現場
で研究的に施工して見ない爲めに遂に忘れら
れ世を益する迄に至らない事が澤山ある。然
しコンクリートの工事能率丈は日本が世界に
一頭地を抜かねばならん筈だ。

○
地震を怖れる前に現在の知識で出来る丈の
安全設備はして置かぬばならぬ。然し基礎
工事にも鐵骨工事にも無暗に金をかける事は
出来ない。ミキサーに水とセメントを先に入
れる位は何でもない手間である。